

IP OFFICE シリーズ

S/M/L タイプ
SⅡ/MⅡ/LⅡタイプ

取扱説明書

ホテル機能編

- 本書は製品を安全にご使用いただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に必ずお読みください。
- ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管していつでもご活用できるようにしてください。

このたびは、「IP OFFICE」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

※本書では、IP OFFICE を「主装置」と記載しています。

ご注意

- 本製品は、電話番号に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本製品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。
- ご使用の際は、本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので、絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 本書の内容、外観については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

免責事項




- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

本書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の説明



表示	説明
 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1： 重傷とは失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。









※2： 傷害とは治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3： 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

表示	説明
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は絶対に行わないでください。
 強制	強制(必ずすること)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は必ず実施してください。

⚠ 危険

 強制	<p>電池パックはプラス⊕・マイナス⊖の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、プラス⊕、マイナス⊖の向きを確かめてください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 禁止	<p>電池パックを単体では充電しないでください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 禁止	<p>電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 禁止  分解禁止	<p>電池パックを分解・改造しないでください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 強制	<p>電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火の中に投入したり、加熱しない ・直接はんだ付けしない ・プラス⊕・マイナス⊖を針金などの金属類で接触させない ・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない ・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない
 強制	<p>電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください</p>
 強制	<p>不要になったリチウムイオン電池を廃棄するときは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うようにしてください</p> <p>電極がショートすると、破裂、発火の原因となります。</p>

 **警告**




 禁止	<p>取付位置を変更しないでください 火災・感電・けがの原因となります。 配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください 火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>
 禁止  ぬれ手禁止	<p>主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください 感電の原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・小さな金属など)を置かないでください 液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>
 禁止  接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、主装置・電源コードなどに触れないでください 感電の原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。</p>
 禁止	<p>一般のゴミとして放置しないでください 火災・けがの原因となります。 廃棄するときは、販売店にご相談ください。</p>
 禁止	<p>AC100V ± 10V の商用電源以外は、絶対に使用しないでください 火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>内線・外線の各端子をショートさせないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 強制	<p>電源プラグを電源コンセントへ直接接続してください 延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。</p>

⚠ 警告

 禁止	<p>テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください 火災・過熱の原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください 落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止  ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください 感電・けがの原因となります。</p>
 禁止  火気禁止	<p>主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください 鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>工事者以外は、装置の蓋などを開けないでください 感電、故障の原因となります。</p>
 強制	<p>電源プラグは電源コンセントの奥までしっかり差し込んでください 電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・感電・故障の原因となります。</p>
 強制	<p>電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください 火災の原因となります。</p>
 強制  電源プラグを抜く	<p>主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後2～3年(長寿命バッテリーの場合は6年)です。交換時期になりましたら、販売店にまとめて交換をご依頼ください 寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>機器で指定されていないバッテリーは使用しないでください。また、新しいバッテリーと古いバッテリーと混ぜての使用はしないでください 電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。</p>
 禁止  分解禁止	<p>分解・改造・修理しないでください 火災・感電・故障の原因となります。 電話機の改造は法令違反となります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。</p>

 **警告**







 	強制 電源プラグを抜く	<p>万一異物が、本装置および電話機の内部に入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。</p>
	強制	<p>主装置の内部の点検・修理は、販売店に依頼してください</p>
	禁止	<p>歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください 転倒・交通事故などの原因となります。</p>
	禁止	<p>電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください 火災・故障の原因となります。</p>
	禁止	<p>引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください 火災の原因となります。</p>
 	禁止 電源プラグを抜く	<p>万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください 必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
	禁止	<p>本装置を医療用電気機器（ペースメーカーなど）の近くで使用しないでください 電波により医療用電気機器に影響を与えることがあります。</p>
	禁止	<p>高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください 電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。 (ご注意ください電子機器の例：補聴器・医療用電子機器・ペースメーカー・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など)</p>
	禁止	<p>充電器の開口部から金属類を入れないでください 万一、内部に異物が入った場合は、すぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	禁止	<p>充電端子を金属でショートさせないでください 火災・故障の原因となります。</p>
	禁止	<p>充電端子に水滴のついたまま充電しないでください 火災・故障の原因となります。</p>
	強制	<p>電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください</p>
	強制	<p>所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください</p>
 	禁止 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の AC アダプタを抜き差ししないでください 感電の原因となります。</p>
	禁止	<p>付属の AC アダプタ、充電器以外を使用しないでください 火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。</p>
	強制	<p>AC アダプタ、充電器は指定の電源コンセントに接続してください それ以外の電源コンセントに接続すると火災・感電・故障の原因となります。</p>

 警告	
 強制	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください
 禁止	LAN ポートや PC ポートに接続したネットワークケーブルを電源コンセント、アナログ電話回線、デジタル電話回線 (ISDN)、PBX デジタル電話回線には接続しないでください 火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
 強制	必ずアースを接続してください アース接続をしないで使用すると感電・故障の原因となることがあります。
 強制	主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください 配線工事を行うには資格が必要です。また、主装置や電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。
 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください 電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。
 禁止	振動・衝撃の多い場所に置かないでください 火災・感電・故障の原因となります。また落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 禁止	主装置や電話機を上下逆さまの状態を設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください けがや故障の原因となることがあります。
 禁止	直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
 禁止	湿気やほこりの多い場所、潮風、腐食性ガスのかかる場所、化学反応を起こすような場所 (化学実験室など) には置かないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	電源コードおよび電話機コードを熱器具に近づけないでください コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	落下させるほどの強い衝撃を与えないでください
 強制	移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、回線コードや電話機コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	主装置や電話機の開口部をふさがないでください 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

 禁止	<p>電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください 通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。</p> <p><電気雑音の原因としては></p> <ul style="list-style-type: none"> ・車やオートバイが近くを通る場合 ・放送局や無線局(アマチュア無線、CB 無線など)の近くで使用する場合 ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA 機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合 ・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合
 禁止	<p>強い磁界の発生源の近くに設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>火のそばや炎天下などの高温の場所で、充電はしないでください 高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。</p>
 強制	<p>電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください 誤飲、感電の原因となります。</p>
 強制	<p>長時間で使用にならないときは、安全のため必ず充電器の AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください 発火・故障の原因となります。 主装置については、常時電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。</p>
 強制	<p>AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず AC アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください 電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>コードレス電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください 故障の原因となります。</p>
 注意	<p>電話機等の底面には、ゴム製のスベリ止めを使用しています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります</p>
 注意	<p>コードレス電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください</p>
 注意	<p>アンテナなどの突起物を目や口などに入れないようにしてください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください</p>
 強制	<p>充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください 感電の原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。</p>
 強制	<p>充電は周囲温度 5℃～35℃の範囲で行ってください 正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。</p>
 強制	<p>お手入れの際は安全のために、本装置の電源スイッチを切ってから電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください</p>

 注意	
 強制	水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください 本装置および電話機の内部に水滴が入ると、火災・故障の原因となることがあります。
 禁止	表面が熱に弱い家具の上などの表面が熱に弱い場所には、本装置および電話機を置かないでください 家具等の表面が変色・変形する場合があります。
 禁止	本装置および電話機の上に手をついたり、ものを載せないでください 火災や故障の原因となります。
 禁止	ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナーなどでふかないでください 本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
 禁止	受話器用カールコードやモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを強く引っ張らないでください 故障の原因となることがあります。

IP 回線の特性について

- 下記のような場合には、IP 電話サービスの通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - ・ WAN(ブロードバンド)回線の接続状態によって十分な帯域がとれない場合
 - ・ インターネット上で十分な帯域がとれない場合
 - ・ 主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
 - ・ ADSL 回線をご利用の場合は、下りの伝送速度よりも上りの伝送速度のほうが低いいため、通話中にインターネット上のサーバへ大きなファイルを送信したり、他拠点との間でファイルを転送することは避けてください。また、LAN 内に、インターネットにアクセスできる Web サーバ、FTP サーバなどを設置しないでください。

SIP 電話機および IP 多機能電話機の特性について

- 下記のような場合には、電話機の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - ・ LAN の接続状態によって、十分な帯域がとれない場合
 - ・ LAN に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。

取扱上のお願ひ / 主装置、電話機、他

停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください

本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください

本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります

テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります

放送局の近くや違法 CB 無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください

別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「ON」のまま、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください
バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

コードレス電話機を設置するときは、親機から約 3m 以上離してください
親機にあまり近い場合は、コードレス電話機が正常に動作しないことがあります。

デジタルコードレス電話機(DC)の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください
ゴムキャップがないまま、ぬれた手で使用すると、故障や感電の原因となります。

コードレス電話機は、防水対応ではありません

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください
結露したまま使用すると、故障の原因となります。

コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

目次

安全にお使いいただくために	i
---------------	---

お使いになる前に	xii
-----------------	------------

取扱説明書の見かた	xii
略図の説明	xiii
本書の構成	xvi
使用する機器	xvii
IPAP パッケージ / ホテル機能アダプタ	xvii
Web ルームインジケータ用のパソコン	xviii
●必要条件	xviii

第 1 章 ホテルシステムの概要	1
-------------------------	----------

1-1 ホテル機能を構成する機器と役割	1
ホテルシステムの構成図	1
●主な構成機器	2
●その他の構成機器	2
1-2 ホテルの各機能	3
ホテル従業員ができること(フロント機能)	4
●使用する内線の種類	4
●客室の利用状況や清掃状態(ルームステータス)の管理	5
●ウェイクアップコールやメッセージウェイティングの登録	6
●客室内線の一斉呼び出し	6
●客室内線 / パンケット内線からの発信規制と解除	6
宿泊客ができること(客室機能)	7
●使用する内線の種類	7
●内線 / 外線に電話をかける	7

第 2 章 電話機からの操作	8
-----------------------	----------

2-1 ホテル従業員の操作	8
チェックインからチェックアウトまでのルームステータスの管理	9
●チェックインする	9
●客室を変更する(ルームチェンジ)	10
●客室を外出 / 在室状態にする	11
●チェックアウトする	13
ルームステータスの切替以外の操作	14
●目覚まし機能を設定する(ウェイクアップコール)	14
●宿泊客への伝言があることを登録する(メッセージウェイティング)	16
チェックアウト後のルームステータスの管理	18
●清掃を開始 / 完了する	18
●清掃後の客室を点検する	20
●客室を故障 / 修理完了状態にする	22
客室情報の確認	24
●客室情報を確認する	24
●確認できる情報	25

フロント内線からの緊急時などの操作	26
●客室内線 / バンケット内線の発信規制を手動で解除する	26
●強制的に空室状態にする	27
●客室内線を一齐に呼び出す	28
フロント内線 / 控室内線から電話をかける	29
●外線にかける	29
●内線にかける	30
宿泊者からの電話をうける	31
●客室内線からの電話をフロント内線でうける	31
清掃内線からの操作	32
●清掃を開始 / 完了する	32
●清掃後の客室を点検する	33
●電話をかける	33
客室内線からの操作	34
●清掃を開始 / 完了する	34
●清掃後の客室を点検する	34
2-2 宿泊客の操作	35
客室内線から	35
●目覚まし機能を設定する(ウェイクアップコール)	35
●電話をかける	36
バンケット内線から	37
●電話をかける	37

付録 A 39

A-1 Web ルームインジケータの画面構成	39
A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン	40
A-3 ホテルシステムで使用する特番	41
A-4 ルームステータスの状態表示	42
A-5 ルームステータスの切替操作のまとめ	43
●各電話機で可能な操作	43
●ルームステータスの切替操作	43
●ルームステータスの切替以外の操作	44

付録 B 45

B-1 困ったときは	45
------------	----

索引 47

お使いになる前に

取扱説明書の見かた

お
使
い
に
な
る
前
に

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。

見出し

機能を示す見出し
タイトルです。

機能概要

機能の内容を簡単
に説明しています。

操作手順説明

操作や表示内容を
簡単に説明してい
ます。

工事設定

工事者による設定が
必要なため、販売店に
ご相談いただきたい
ことを説明しています。

2-2 宿泊客の操作

2-2 宿泊客の操作

● 客室内線から

客室内線からは、ウェイクアップコール時刻の設定ができます。

目覚まし機能を設定する(ウェイクアップコール)

ウェイクアップコールは、指定時間になると客室の内線呼び出して、目覚ましの音声ガイダンスを流す機能です。客室内線からウェイクアップコールの登録と解除ができます。

MEMO

音声ガイダンスを、チェックイン時に Web ルームインジケータから登録した言語で流すこともできます(客室ごとに登録)。販売店にご相談ください。登録できる言語は、8カ国語(日本語、韓国語、中国語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語)のいずれかです。Web ルームインジケータについては、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(P.39)を参照してください。

ウェイクアップコールを登録する

- 1 受話器を上げる
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 ウェイクアップコール特番と **1** を押す
- 3 ウェイクアップコールの時刻を押す
● 例えば、朝 7:30 分の場合は **0** **7** **3** **0** と押します。
● 入力した時刻を確認するガイダンスが流れます。
- 4 受話器を置く
客室内線にウェイクアップコールが設定されます。

MEMO

● 客室のウェイクアップコールの時刻が設定されたことを、ホテル従業員が電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(P.24)を参照してください。
● ウェイクアップコールの時刻を変更したい場合は、手順 3 で新しい時刻を入力します。

工事設定

特番の初期設定については、販売店にご相談ください。

ウェイクアップコールを解除する

- 1 受話器を上げる
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 ウェイクアップコール特番と **0** を押す
● 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(P.41)を参照してください。
● 時刻の解除を確認するガイダンスが流れます。
- 3 受話器を置く
内線のウェイクアップコールが解除されます。

MEMO

客室のウェイクアップコールの設定が解除されたことを、ホテル従業員が電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(P.24)を参照してください。

第 2 章
電話機からの操作

章タイトル

補足説明

操作手順の補足的な
内容を説明してい
ます。

MEMO

関連項目や注意点を
説明しています。

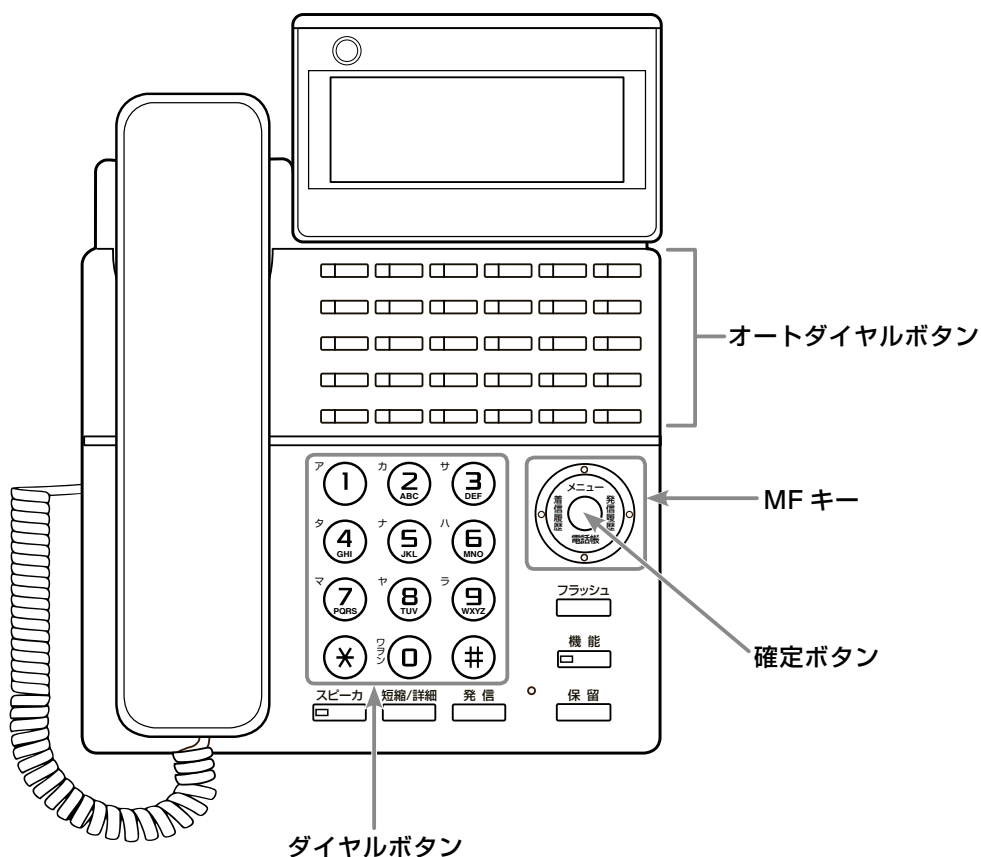
略図の説明

多機能電話機の操作説明での表記

受話器を置いている状態を基本とします。

略図	説明
	ダイヤルボタン
	各機能名称のボタン/ランプ
(DSS)	DSS 機能(客室の内線番号)を割り付けられたオートダイヤルボタン/ランプ
(XXX)	ホテル管理機能を割り付けられたオートダイヤルボタン/ランプ (XXX は付加情報(チェックイン、チェックアウトなど))
(確定)	MF キーの確定ボタン

略図	説明
	MF キーの上下左右
	MF キーの左
	MF キーの右
	MF キーの上
	MF キーの下



- 各ボタンの操作の詳細やディスプレイの見かたについては、『取扱説明書(多機能電話機編)』の「第1章 電話機の取り扱い」を参照してください。

MEMO

本書では、MKT/ARC-30DKHF/P-W-02A の操作について説明しています。多機能電話機には、ボタンの形状が異なる機種もありますが、各機種の使いかたは同じです。

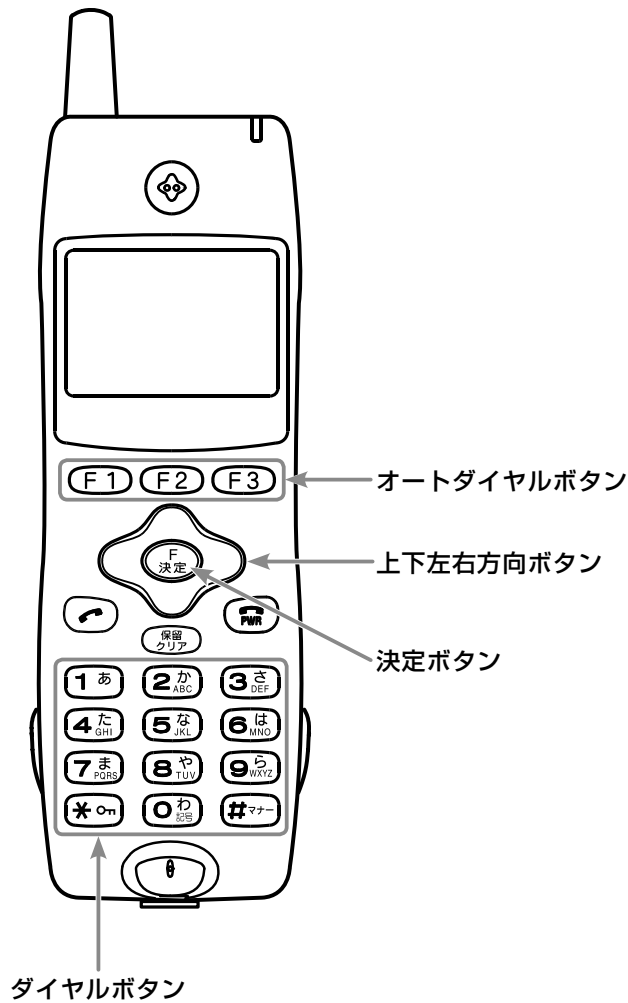
デジタルコードレス電話機（UM）の操作説明での表記

充電器から上げている状態を基本とします。

略図	説明
	ダイヤルボタン
	各機能名称のボタン / ランプ
	決定ボタン

略図	説明
	上下左右方向ボタン
	機能を割り付けられた オートダイヤルボタン / ランプ (XXX は機能名) ※操作手順の説明では、番号を省略しています。

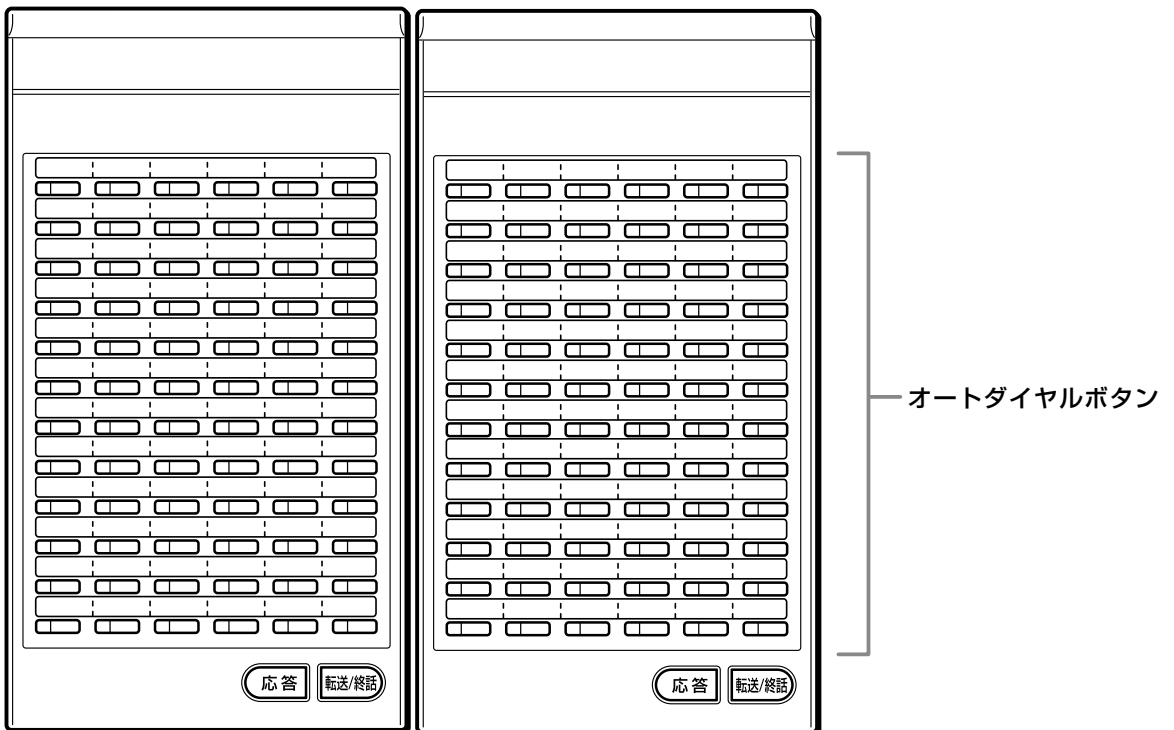
お使いになる前に



- 各ボタンの操作の詳細やディスプレイの見かたについては、デジタルコードレス電話機（UM）に添付されている取扱説明書を参照してください。

集中受付装置 (DSS) の操作説明での表記

略図	説明
 (DSS)	DSS 機能 (客室の内線番号) を割り付けられた オートダイヤルボタン / ランプ



本書の構成

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくための注意事項について、記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

お使いになる前に（本章）

本書の見かたと表記の説明について、まとめてあります。

第 1 章 ホテルシステムの概要

ホテルシステムを構成する主な機器について、構成図とともにその役割を説明しています。フロント機能や客室機能などのホテルの各機能については、使用する内線別に概要を説明しています。

第 2 章 電話機からの操作

電話機からできるホテル機能の操作について、操作者別（ホテル従業員、宿泊客）、操作対象内線別（フロント内線、控室内線、清掃内線、客室内線）に説明しています。ホテル従業員の操作は、チェックインからチェックアウトまでの操作、チェックアウト後の操作、緊急時の操作に分けて説明しています。

付録 A

ホテル機能をパソコンから利用する「Web ルームインジケータ」の画面と操作について簡単に紹介しています。

また、電話の操作で利用できる特番や電話に登録できる機能の一覧、特番や機能の初期設定の値や、ホテル機能でよく使用するルームステータスの切替操作について簡単にまとめています。

付録 B

ホテルシステムをお使いになる際の疑問点などを Q&A で紹介しています。

使用する機器

ホテルシステムで使用する機器には、ホテル機能を備えた IPAP パッケージ (汎用アプリケーションパッケージ)、ホテル機能アダプタ、Web ルームインジケータ用のパソコンなどがあります。

● IPAP パッケージ / ホテル機能アダプタ

品名	説明
IPAP パッケージ (汎用アプリケーションパッケージ)	ホテル機能を備えた IPAP パッケージ (汎用アプリケーションパッケージ) で、主装置内に装着して使用します (パッケージの装着および設定は工事者が行います)。ホテル機能アダプタと同様にスタンダードタイプとホストタイプの 2 種類があります。
ホテル機能アダプタ (スタンダードタイプ)	ホストコンピュータのいない、オールインワンタイプのホテル機能アダプタです。客室情報や課金情報などを管理し、客室の利用状況や清掃状況を示すルームステータスの切替を電話機から行うことができます。客室情報や課金情報は、専用のツール (Web ルームインジケータ) を使用してパソコンから管理することもできます。
ホテル機能アダプタ (ホストタイプ)	ホストコンピュータに接続して運用するタイプのホテル機能アダプタです。スタンダードタイプの機能に加え、通話明細やウェイクアップコールの登録 / 呼び出し結果などをプリンタに出力します。

ホテル機能を使用するには、以下のいずれかが必要です。

- ホテル機能を備えた IPAP パッケージ (汎用アプリケーションパッケージ) を主装置に装着する
- ホテル機能アダプタと主装置を LAN 接続する

接続構成図は「1-1 ホテル機能を構成する機器と役割」(▶ P.1)を参照してください。

工事設定

IPAP パッケージ (汎用アプリケーションパッケージ) の装着、およびホテル機能アダプタの接続方法については、販売店にご相談ください。

● Web ルームインジケータ用のパソコン

客室情報や課金情報の管理にパソコンも使用する場合は、Web ルームインジケータ用のパソコンを用意します。

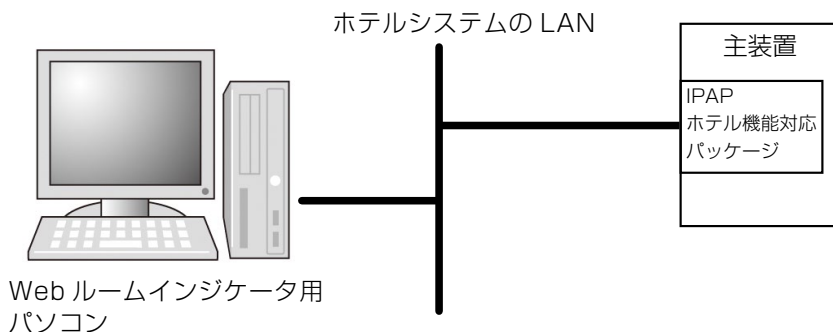
必要条件

Web ルームインジケータを使用するには、次のハードウェア、ソフトウェア、周辺機器が必要です。

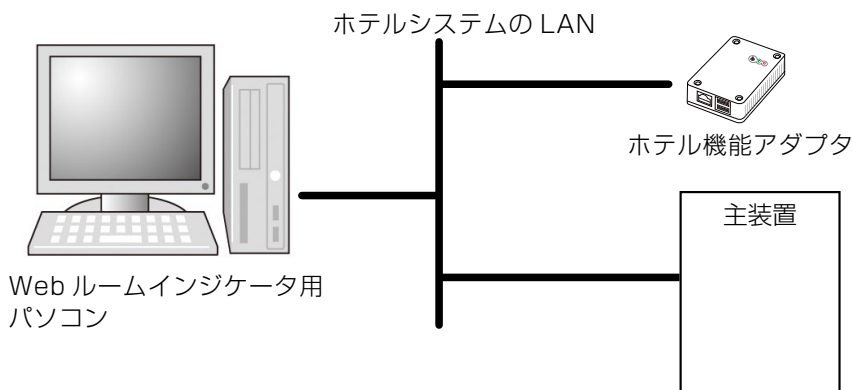
項目	必要条件 / 用途
オペレーティングシステム	Windows 10/7 Professional 32bit/64bit
CPU	Intel Core i5 2300 以上
ハードディスク容量	500GB 以上
メモリー	4GB 以上
ディスプレイ	1280 × 1024 以上の解像度
プリンタ	会計データなどの印刷に使用
ブラウザ	Google Chrome 22 以降
Microsoft Excel	IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタから課金情報を読み込んで表示するときに使用
Adobe Reader	取扱説明書等の PDF ファイルを表示するときに使用

Web ルームインジケータを使用する場合は、Web ルームインジケータ用のパソコンを LAN 接続します。設置方法などは、販売店にご相談ください。

IPAP パッケージを使用する場合



ホテル機能アダプタを使用する場合



MEMO

Web ルームインジケータの画面構成については、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(➡P.39)を参照してください。

第 1 章 ホテルシステムの概要

1-1 ホテル機能を構成する機器と役割

このホテルシステムでは、フロント業務を IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタ 1 台で行うことができます。ホテル機能アダプタはコンパクトサイズなので専用のスペースは必要ありません。LAN ケーブルで接続するため、フロントと離れた場所にも設置できます。専用のパソコンへのインストールも不要です。

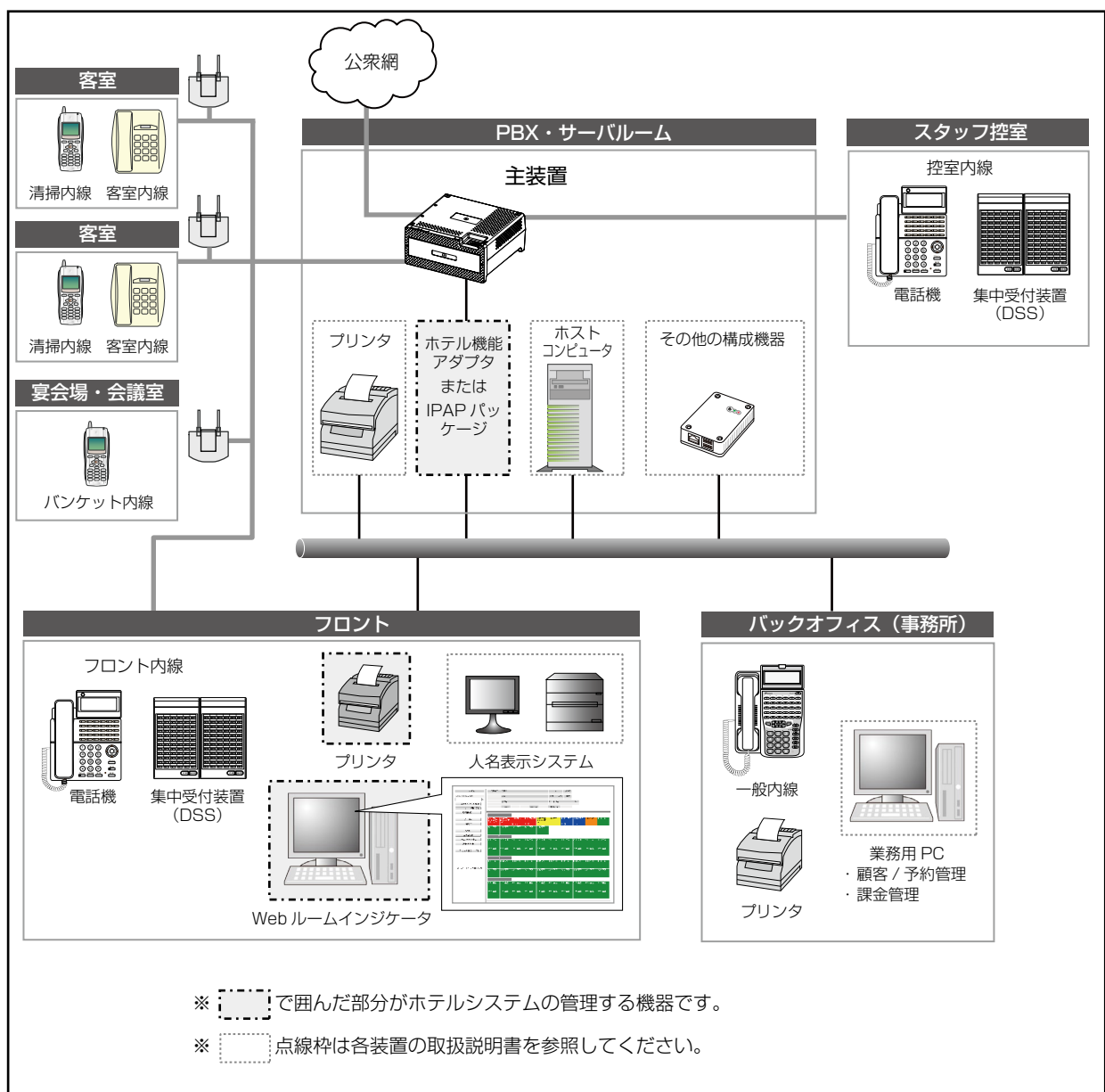
また、他のサービス機器 (IVR 装置や緊急通報システムなど) と接続することで、ホテルサービスの機能を拡張できます。

チェックインなどのホテル機能の操作は、フロント内線 / 控室内線から電話機で操作するか、フロントにパソコンを設置した場合はパソコンの画面 (Web ルームインジケータ) から操作することもできます。

● ホテルシステムの構成図

ホテル機能は、ホテル機能を備えた IPAP パッケージを主装置に装着、またはホテル機能アダプタを主装置に接続し、他の関連装置を連動させることで実現します。

以下の図は、ホテル機能アダプタを利用したホテルシステム構成の例です。



主な構成機器

ホテルシステムを構成する機器のうち、この取扱説明書に登場するホテル機能の関連機器は次のとおりです。

機器の名前	役割
主装置	電話交換機能を提供する装置で、各種電話機からできる操作を設定できます。
IPAP パッケージ ホテル機能アダプタ	ホテル機能を提供する装置です。 電話機やパソコン(Web ルームインジケータ)からフロント機能・顧客管理機能・課金機能を利用することができます。また、プリンタと接続することもできます。 ※この装置で利用できる課金機能は、通話情報管理アダプタの簡易モデルです。
プリンタ	IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタからの情報を印刷します。 例えば、チェックアウトのときの会計データやウェイクアップコール時刻の登録情報などです。
Web ルームインジケータ用の パソコン	客室の利用状況や清掃状況を示すルームステータスの切替など電話機から操作可能な作業だけでなく、予約情報の管理などパソコンでしかできない作業を行う場合に用意します。

その他の構成機器

ホテルシステムを構成する、その他の機器は次のとおりです。詳細は、各機器の取扱説明書を参照してください。

機器の名前	役割
課金装置(通話情報管理アダプタ)	有料サービスなどに関する情報を蓄積して、集計 / 出力するための装置です。
緊急通報システム (火災警報客室表示器送信装置)	火災報知機を監視する装置です。
遠隔保守アダプタ	モデム経由で保守コンソールにアクセスする場合に使用します。
IVR 装置	ホテル機能装置と連携させて各種の音声ガイダンスを流す場合に使用します。
ホテル LAN 延長アダプタ	IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタとホストコンピュータを接続するときの延長用アダプタです。
顧客 / 予約管理用パソコン	ホテル機能の顧客・予約管理をパソコンで操作する場合に必要です(Web ルームインジケータ用パソコンと共用可能)。
人名表示システム	客室からフロントに電話がかかってきたときに、客室の発信者情報を表示します。
外部機器接続アダプタ	他のホテル周辺機器と接続するためのアダプタです。

1-2 ホテルの各機能

ホテル機能は、フロント機能、客室機能、ホスト接続機能、保守機能の4つに分けることができます。フロント機能はホテル従業員が行う操作で、客室機能は宿泊客が行う操作です。その他には、ホスト接続機能と保守機能があります。ここでは、それぞれの機能と操作の内容について簡単に説明します。

各機能で使用する機器とそれぞれの概要は次のとおりです。

機能名	使用する機器	概要	参照先
フロント機能 (➡ P.4)	フロント内線 (多機能電話機)	チェックイン、チェックアウトなどの客室の利用状況に関するルームステータスの切替や、ウェイクアップコール時刻の設定、客室一斉呼出、客室規制解除などのフロント業務に使用します。	「2-1 ホテル従業員の操作」 (➡ P.8)
	控室内線 (多機能電話機)	主に、ルームステータスのうち、客室の清掃状況を示す清掃ステータスの切替に使用します。	
	清掃内線 (デジタルコードレス電話機(UM))	清掃スタッフが持ち歩き、客室の清掃状況を示す清掃ステータスを切り替える際に使用します。	「2-1 ホテル従業員の操作」－ 「清掃内線からの操作」(➡ P.32)
	客室内線 (アナログ電話機)	清掃スタッフが、客室の清掃状況を示す清掃ステータスを切り替える際に使用します。	「2-1 ホテル従業員の操作」－ 「客室内線からの操作」(➡ P.34)
	パソコン (Web ルームインジケータ)	各種ルームステータスの切替や客室内線/バンケット内線の規制変更や規制解除などに使用します。	「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(➡ P.39)
客室機能 (➡ P.7)	客室内線 (アナログ電話機)	客室のウェイクアップコール時刻の設定/解除に使用します。	「2-2 宿泊客の操作」(➡ P.35)
	バンケット内線 (デジタルコードレス電話機(UM))	チェックイン時に宴会用/会議用などの用途で電話機を貸し出します(チェックアウト時に電話利用料金が清算されます)。	
ホスト接続機能	—	IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタとホストコンピュータを接続することができます。 ※機能については、ホストコンピュータに依存します。	販売店にご相談ください。
保守機能	パソコン	ホテルの保守業務には、データのバックアップとリストア、プリンタの設定/管理および課金の管理と集計などがあります。	販売店にご相談ください。

MEMO

- 客室内線とバンケット内線からの発着信(内線、外線、国際電話など)を規制して制限することができます。詳細は「客室内線/バンケット内線からの発信規制と解除」(➡ P.6)を参照してください。
- フロント内線、控室内線、清掃内線からの発着信(内線、外線、国際電話など)については、初期設定では制限されていません。
- ホテル内売店などの一般内線は、IPAP パッケージおよびホテル機能アダプタでは管理されません。

● ホテル従業員ができること(フロント機能)

フロント係は、チェックイン/チェックアウトなどのルームステータスの切替操作、ウェイクアップコール設定などの操作を、フロント内線から行います。ルームステータスの切替は、パソコン(Web ルームインジケータ)から操作することもできます。

清掃内線を持ち歩く清掃スタッフは、客室の清掃状況に応じて清掃内線からルームステータス(清掃ステータス)を切り替えます。また、清掃ステータスは客室の内線から切り替えることもできます。

清掃マネージャーは控室内線から清掃状況を確認したり、清掃ステータスを切り替えます。

MEMO

ルームステータスのうち、客室の清掃状況を示すステータス(清掃開始、清掃完了、点検完了、清掃完了取消)を清掃ステータスと呼びます。ルームステータスと清掃ステータスの詳細は「客室の利用状況や清掃状態(ルームステータス)の管理」(➡P.5)を参照してください。

使用する内線の種類

フロント機能で使用する内線は、主にフロント内線です。控室内線もフロント内線とほぼ同様の機能を持ちますが、清掃、点検に関するステータス管理が主な役割となります。

内線の種類	説明
フロント内線	ホテルのフロントに設置される多機能電話機と集中受付装置(DSS)です。客室の利用状況を確認したり、チェックイン、チェックアウトなどのルームステータスの切替操作を行います。また、客室のウェイクアップコールの時刻設定や緊急時の客室一斉呼出なども行います。フロント係が使います。
控室内線	ホテル従業員の控室に設置される多機能電話機と集中受付装置(DSS)です。フロント内線と機能はほぼ同じですが、主に清掃ステータスの切替と確認業務を行います。
清掃内線	清掃スタッフが持ち歩くデジタルコードレス電話機(UM)です。主に客室の清掃ステータスを切り替えるために使います。
客室内線	客室に設置されているアナログ電話機です。清掃スタッフが客室の清掃ステータスを切り替える場合に使います。

MEMO

フロント内線、控室内線、清掃内線からの発着信(内線、外線、国際電話など)については、初期設定では制限されていません。

工事設定

フロント内線、控室内線、清掃内線からの発着信の制限を変更する場合は、内線サービスクラスを変更する必要があります。詳細は、販売店にご相談ください。

客室の利用状況や清掃状態(ルームステータス)の管理

ホテル従業員は、以下のような客室に関するステータスの切替操作を行うことで、客室の利用状況や清掃状態を管理します。フロント係は、フロント内線の電話機から、またはフロントのパソコン(Web ルームインジケータ)からこの操作を行います。清掃スタッフは、清掃内線の電話機からこの操作を行います。

ルームステータスの切替操作を行うと、操作後のルームステータスはそれぞれ以下のように変わります。

ルームステータスの切替操作	操作後のルームステータス	説明
チェックイン	→ 在室中	客室に対してチェックイン操作を実行します。この操作により、その客室内線から外線通話ができるようになります。チェックイン後のルームステータスは「在室中」になります。
ルームチェンジ	→ 在室中	チェックイン済みの客室を変更する場合は、この操作を行います。ルームステータス、通話規制、通話料金などを引き継いだまま客室を変更できます。
チェックアウト	→ 清掃待ち	客室に対してチェックアウト操作を実行します。この操作により、その客室で利用された通話料金がプリンタに出力されます。客室内線の通話は内線のみ制限されます。チェックアウトを行うと、ルームステータスは「清掃待ち」になります。
清掃開始	→ 清掃中	客室の清掃を開始するときは、清掃開始操作を実行することで、ルームステータスを「清掃中」にします。
清掃完了	→ 点検待ち	客室の清掃が完了したら、清掃完了操作を実行することで、ルームステータスを「点検待ち」にします。
点検完了	→ 空室	清掃済みの客室の点検が済んだら、点検完了操作を実行することで、チェックインができる状態(「空室」)にします。
清掃完了取消	→ 清掃中	点検の結果、再度クリーニングが必要と判断された場合は、この清掃完了取消操作を行って、ルームステータスを「清掃中」に戻します。
故障	→ 故障中	客室の修理が必要な場合に行う操作です。修理が完了し、修理完了操作を実行するまでチェックインできません。
修理完了	→ 空室	故障中の客室の修理が終了したら、この操作を実行してチェックインができる状態にします。
外出	→ 外出中	チェックイン中の宿泊客が外出したら、外出操作を実行します。ルームステータスは「外出中」になります。
在室	→ 在室中	チェックイン中の宿泊客が外出から戻ってきたら、この操作を実行します。ルームステータスは「在室中」になります。

MEMO

- ルームステータスのうち、客室の清掃状況を示す清掃ステータス(清掃開始、清掃完了、点検完了)は、控室内線、清掃内線、客室内線からも切り替えられます。
- 電話機からのルームステータスの切替操作については、「2-1 ホテル従業員の操作」(➡ P.8)を参照してください。
- ルームステータスの切替操作を行うと、電話機のディスプレイや Web ルームインジケータなどに切替後のルームステータスが表示されます。それぞれの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(➡ P.42)を参照してください。
- ルームステータスの切替操作の一覧については、「A-5 ルームステータスの切替操作のまとめ」(➡ P.43)を参照してください。

ウェイクアップコールやメッセージウェイティングの登録

フロント内線から実行するルームステータスの切替以外の操作には、客室のウェイクアップコール(目覚まし)やメッセージウェイティングの有無(預かっている伝言の有無)の登録があります。

操作	説明
ウェイクアップコールの時刻設定を登録 / 解除する(➡ P.14)	客室のウェイクアップコールの内容を設定または変更します(客室内線からも行える操作です)。
メッセージウェイティングを登録 / 解除する(➡ P.16)	伝言を預かっていることを客室情報として登録できます。

これらの操作を行うと、フロント内線や控室内線のディスプレイ、パソコンの Web ルームインジケータでそれぞれ次のように表示されます。

登録操作の例	フロント内線 / 控室内線のディスプレイ	パソコンの Web ルームインジケータ
ウェイクアップコールの時刻を 7 時 40 分に設定	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 在室中 07:40 M	
メッセージウェイティングを「伝言あり」に設定	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 在室中 07:40 M	

客室内線の一斉呼び出し

フロント内線から客室を一斉に呼び出すことができます(緊急一斉呼出特番、 (緊急一斉呼出))。緊急の場合に客室を一斉に呼び出したい場合などに使用できます。

詳細は、第 2 章の「客室内線を一斉に呼び出す」(➡ P.28)を参照してください。

客室内線 / バンケット内線からの発信規制と解除

客室のチェックイン操作をすると、通常はその客室内線(およびその客室に貸し出されたバンケット内線)からの外線発信の規制が自動的に解除され、外線発信ができるようになります(国際電話については別途、設定が必要です)。発信規制の手動での解除は、フロント内線から操作することができます(客室規制解除特番)。第 2 章の「客室内線 / バンケット内線の発信規制を手動で解除する」(➡ P.26)を参照してください。

客室内線 / バンケット内線からの転送や特定の電話番号への発信、特定の特番の使用、外線への発信などの規制は、Web ルームインジケータから内線ごとに設定することができます。

工事設定

発信先の規制や許容の範囲、および全内線の一括規制については、販売店にご相談ください。

MEMO

- Web ルームインジケータの概要については、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(➡ P.39)を参照してください。
- 発信規制の手動解除は、主装置との通信に問題が発生してチェックイン操作ができない状態のときに宿泊客が到着してしまった場合など、すぐに宿泊客を客室に案内したい場合に使用できます。宿泊客を客室に案内する前に、客室内線の発信規制を解除することができます。この場合、チェックイン操作は、障害の回復後に行います。

● 宿泊客ができること(客室機能)

客室内線とバンケット内線を使用して電話をかけることができます。また、客室内線からは、目覚まし(ウェイクアップコール)の時刻を設定できます(➡ P.35)。

使用する内線の種類

客室で使用する内線には、客室内線とバンケット内線があります。

種類	説明
客室内線	各客室に設置されるアナログ電話機のことです。 客室内線ごとに外線、内線、国際電話への発信と着信を制限できます。チェックアウト時の通話料金算出の対象となります。また、ウェイクアップコール時刻の登録操作にも使用します。
バンケット内線	チェックイン時に宴会 / 会議用として貸し出すデジタルコードレス電話機(UM)のことです。 バンケット内線ごとに外線、内線、国際電話への発信と着信を制限できます。チェックアウト時に通話料金算出の対象となります。

内線 / 外線に電話をかける

客室内線やバンケット内線では、常に内線への発着信が可能です。

チェックイン操作が行われると、その客室内線(およびその客室に貸し出されたバンケット内線)から、外線への発信ができるようになります。

チェックアウト操作が行われると、内線への発着信のみ使用できる状態に戻ります。

MEMO

- 電話をかける方法については、「2-2 宿泊客の操作」の「電話をかける」(➡ P.36 および P.37)を参照してください。
- 客室内線やバンケット内線から国際電話をかけられるようにするには設定が必要です。また、特定の客室内線やバンケット内線からの発着信を規制することもできます。「客室内線 / バンケット内線からの発信規制と解除」(➡ P.6)を参照してください。

第2章 電話機からの操作

この章では、ホテル機能に関する操作のうち、電話機から行うことができる操作について説明します。

- 「2-1 ホテル従業員の操作」(➡ P.8)
- 「2-2 宿泊客の操作」(➡ P.35)

電話機からの操作を行う前に、使用する電話機(フロント内線)と集中受付装置(DSS)のオートダイヤルボタン に、以下のホテル機能と DSS 機能を登録してください。

また、 (DSS)には、客室の内線番号を登録しておきます。登録については「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡ P.40)を参照してください。

チェックイン	ルームチェンジ	外出	在室
メッセージウェイティング	チェックアウト	清掃開始	清掃完了
ウェイクアップコール	点検完了	故障	客室情報表示

2-1 ホテル従業員の操作

ここでは、電話機を使用してルームステータスを切り替える操作について、客室のチェックイン→チェックアウト→チェックアウト後の作業の流れの中で説明します。また、ルームステータスの確認操作やウェイクアップコールの登録/解除についても説明します。

- 「チェックインからチェックアウトまでのルームステータスの管理」(➡ P.9)
- 「ルームステータスの切替以外の操作」(➡ P.14)
- 「チェックアウト後のルームステータスの管理」(➡ P.18)
- 「客室情報の確認」(➡ P.24)

これらの操作は主にフロント内線から行います。フロント内線と同等の機能を持つ控室内線については、清掃ステータスや客室情報の確認用としての利用を想定しています。

また、ここでは、以下の操作についても説明します。

- 「フロント内線からの緊急時などの操作」(➡ P.26)
- 「フロント内線/控室内線から電話をかける」(➡ P.29)
- 「宿泊者からの電話をうける」(➡ P.31)
- 「清掃内線からの操作」(➡ P.32)
- 「客室内線からの操作」(➡ P.34)

MEMO

ルームステータスを切り替えると、切替後の状態に応じて、客室の内線番号が登録されたオートダイヤルボタン のランプの光りかたが変わります。ステータス切替操作後のランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(➡ P.42)を参照してください。

● チェックインからチェックアウトまでのルームステータスの管理

宿泊客のチェックインからチェックアウトまでの流れの中で行う管理作業について説明します。電話機から、以下の操作によりルームステータスを切り替えることで、客室の利用状況を管理します。

チェックイン(➡ P.9)

ルームチェンジ(➡ P.10)

チェックアウト(➡ P.13)

外出 / 在室の切替(➡ P.11)

チェックインする

客室の内線番号を指定して、チェックイン操作を行い、客室のルームステータスを「在室中」に切り替えます。

1 待受画面で、 (チェックイン) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにチェックイン画面が表示されます。

チェックイン 内線番号[<input type="checkbox"/>]
--

2 チェックインする客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。チェックインできるのは「空室」のときのみです。

チェックイン 内線番号[200] 鶴の間 空室

3 (複数の客室を選択する場合) 複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプは、点灯(緑)(在室中)に変わります。

5 を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡ P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(➡ P.42)を参照してください。
- チェックイン操作後のルームステータスは「在室中」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(➡ P.24)を参照してください)。

客室情報 内線番号[200] 鶴の間 在室中

- ルームステータスが「空室」でない客室にはチェックインできません。「空室」は、清掃点検または修理が完了しているか、強制空室操作を行った客室です。以下を参照してください。
 - ・「清掃後の客室を点検する」(➡ P.33)
 - ・「修理完了状態にする」(➡ P.23)
 - ・「強制的に空室状態にする」(➡ P.27)

※該当する客室の (DSS) が消灯している場合でも、客室が故障中の場合があるので、電話機のディスプレイ等でルームステータスを確認してください。

※手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもチェックインできない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のチェックイン操作が無効になります。

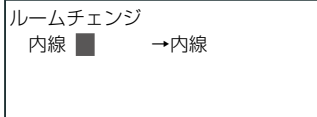
客室を変更する(ルームチェンジ)

何らかの理由(故障や宿泊客の希望など)で客室を変更する場合、ルームチェンジ操作を行います。

ルームチェンジする

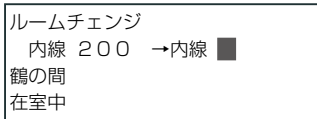
1 (ルームチェンジ) を押す

- (スピーカー) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにルームチェンジ画面が表示されます。



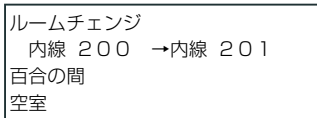
2 変更元客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。



3 変更先客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。



4 (確定) を押す

- 登録完了音が鳴ります。
- 変更先客室の (DSS) ランプは、点灯(緑)(在室中)に変わります。
- 変更元客室の (DSS) ランプは、遅点滅(緑)(清掃待ち)に変わります。

5 (スピーカー) を押す

- (スピーカー) ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- 操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。
- 変更元客室の客室情報や課金情報も、そのまま変更先客室に引き継がれます。

客室を外出 / 在室状態にする

宿泊客がフロントに鍵を預けて外出したら、ルームステータスを外出状態に切り替え、戻ってきたら在室状態に切り替えます。

外出状態にする

1 □□ (外出) を押す

- **スピーカー** ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに外出管理画面が表示されます。

外出
内線番号 [■]

2 客室の内線番号をダイヤルする または、該当する □□ (DSS) を押す

- 選択した客室の □□ (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

外出
内線番号 [2 0 0]
鶴の間
在室中

3 (複数の客室を選択する場合) 複数の □□ (DSS) を押す

○ または ○ を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ □□ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 **確定** を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の □□ (DSS) ランプは、間隙速点滅(緑)(外出中)に変わります。

5 **スピーカー** を押す

スピーカー ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、□□ にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます(□□ (DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- □□ (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- 操作後のルームステータスは「外出中」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、□□ (客室情報表示) + □□ (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号 [2 0 0]
鶴の間
外出中

- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

在室状態にする

1 (在室) を押す

- (スピーカ) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに在室管理画面が表示されます。

在室
内線番号 [■]

2 客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

在室
内線番号 [200]
鶴の間
外出中

3 (複数の客室を選択する場合)
複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプが点灯(緑) (在室中) に変わります。

5 (スピーカ) を押す

(スピーカ) ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- 操作後のルームステータスは「在室中」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
在室中

- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

チェックアウトする

チェックアウト操作により、有料サービス(電話料金など)も同時に清算されます。ホテル機能で使用するプリンタを接続している場合は、領収書が印刷されます。
チェックアウト後のルームステータスは「清掃待ち」になります。

1 (チェックアウト) を押す

- (スピーカー) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにチェックアウト画面が表示されます。

チェックアウト
内線番号[<input type="checkbox"/>]

2 客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

チェックアウト
内線番号[200]
鶴の間
在室中

3 (複数の客室を選択する場合) 複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 (確定) を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプは、遅点滅(緑)(清掃待ち)に変わります。

MEMO

課金中(客室内線やバンケット内線から外線に電話をかけているなど)の客室は、チェックアウト操作をしようとするとエラー音が鳴り、チェックアウトできません。

5 (スピーカー) を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- チェックアウト操作後のルームステータスは「清掃待ち」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号[200]
鶴の間
清掃待ち

- 手順2で内線番号や (DSS) の代わりに (確定) を押すと、全客室を選択できます。全客室が選択された状態で (確定) を押すと、一斉チェックアウトを確認する画面が表示されます。 (確定) を押して手順5に進みます。この操作は、強制空室とチェックアウトのみで有効です。
※全客室を選択したときは、チェックアウト可能な状態の客室のみチェックアウトされます。
- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもチェックアウトできない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のチェックアウト操作が無効になります。

● ルームステータスの切替以外の操作

ここでは、宿泊客の滞在中に行う操作のうち、ルームステータスの切替以外の操作について説明します。

- 「目覚まし機能を設定する（ウェイクアップコール）」（➡ P.14）
- 「宿泊客への伝言があることを登録する（メッセージウェイティング）」（➡ P.16）

目覚まし機能を設定する（ウェイクアップコール）

ウェイクアップコールは、指定時間になると客室内線呼び出して、目覚ましの音声ガイダンスを流す機能です。フロントでは、客室からの依頼により、ウェイクアップコールの登録と解除を行います。

- 「ウェイクアップコールを登録する」（➡ P.14）
- 「ウェイクアップコールを解除する」（➡ P.15）
- 「ウェイクアップコールの登録情報を印刷する」（➡ P.15）

ウェイクアップコールの設定 / 解除は客室内線からも行えます。「2-2 宿泊客の操作」の「目覚まし機能を設定する（ウェイクアップコール）」（➡ P.35）を参照してください。

工事設定

音声ガイダンスを、チェックイン時に Web ルームインジケータから登録した言語で流すこともできます（客室ごとに登録）。販売店にご相談ください。登録できる言語は、8 カ国語（日本語、韓国語、中国語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語）のいずれかです。Web ルームインジケータについては、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」（➡ P.39）を参照してください。

ウェイクアップコールを登録する

1 (ウェイクアップコール) を押す

- ランプが点灯（赤）します。
- 電話機のディスプレイにウェイクアップコール画面が表示されます。

```
ウェイクアップコール
内線番号 [ ■ ]
```

2 客室内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅（緑）します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

```
ウェイクアップコール
内線番号 [200]
鶴の間
在室中
```

3 (複数の客室を選択する場合) 複数の (DSS) を押す

- または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 を押す

時刻入力画面が表示されます。

5 ウェイクアップコールの時刻を押す

例えば、朝 7:30 分の場合は と押します。

```
ウェイクアップコール
内線 200
07時30分
(00:00 ~ 23:59)
```

6 を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室のウェイクアップコールの時刻が設定されます。

7 を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます（ (DSS) には客室の内線番号を登録しておきます。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」（➡ P.40）を参照してください。
- 設定したウェイクアップコールの時刻を電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください（詳細は「客室情報の確認」（➡ P.24）を参照してください）。

```
客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
在室中 07:30
```

ウェイクアップコールを解除する

1 (ウェイクアップコール) を押す

がランプ点灯(赤)します。
電話機のディスプレイにウェイクアップコール画面が表示されます。

ウェイクアップコール
内線番号[■]

2 客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

ウェイクアップコール
内線番号[200]
鶴の間
在室中 07:30

3 フラッシュ を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室のウェイクアップコールが解除されます。

ウェイクアップコール
内線番号[■]

4 スピーカ を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡ P.40) を参照してください。
- ウェイクアップコールの設定が解除されたことを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(➡ P.24) を参照してください)。

ウェイクアップコールの登録情報を印刷する

ウェイクアップコールが登録されている客室の内線番号と登録時刻の一覧をプリンタで印刷することができます。

1 (ウェイクアップコール) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにウェイクアップコール画面が表示されます。

ウェイクアップコール
内線番号[■]

2 発信 を押す

登録完了音が鳴り、ウェイクアップコールの登録一覧が印刷されます。

3 スピーカ を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

工事設定

登録情報を印刷するには、ホテル機能で使用するプリンタが接続されている必要があります。詳細は販売店にご相談ください。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能を割り付けておきます。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡ P.40) を参照してください。
- プリンタの操作方法については、プリンタに添付されている取扱説明書を参照してください。

宿泊客への伝言があることを登録する(メッセージウェイティング)

客室への伝言を預かったら、伝言があることをルームステータスとして登録できます。宿泊客に伝言を伝えたら、このステータスを解除します。また、登録情報を印刷することもできます。

- 「メッセージウェイティングを登録する」(➡ P.16)
- 「メッセージウェイティングを解除する」(➡ P.17)
- 「メッセージウェイティングの登録情報を印刷する」(➡ P.17)

メッセージウェイティングを登録する

1 (メッセージウェイティング) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにメッセージウェイティングの画面が表示されます。

メッセージあり
内線番号 [■]

2 客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

メッセージあり
内線番号 [200]
鶴の間
外出中

3 (複数の客室を選択する場合) 複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室に伝言があること(メッセージウェイティング)が設定されます。

5 を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡ P.40)を参照してください。
- メッセージウェイティングが設定されたことを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(➡ P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
在室中 M

メッセージウェーティングを解除する

1 (メッセージウェーティング) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにメッセージウェーティングの画面が表示されます。

メッセージあり
内線番号[■]

2 客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

メッセージあり
内線番号[200]
鶴の間
在室中 M

3 (複数の客室を選択する場合)
複数の (DSS) を押す

● または ● を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 フラッシュ を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室に伝言があること(メッセージウェーティング)が解除されます。

5 を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶ P.40)を参照してください。
- メッセージウェーティングが解除されたことを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶ P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号[200]
鶴の間
在室中

メッセージウェーティングの登録情報を印刷する

メッセージウェーティングが登録されている客室の内線番号と登録時刻の一覧をプリンタで印刷することができます。

1 (メッセージウェーティング) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにメッセージウェーティングの画面が表示されます。

メッセージあり
内線番号[■]

2 発信 を押す

登録完了音が鳴り、メッセージウェーティングの登録一覧が印刷されます。

3 を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

工事設定

登録情報を印刷するには、ホテル機能で使用するプリンタが接続されている必要があります。詳細は販売店にご相談ください。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能を割り付けておきます。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶ P.40)を参照してください。
- プリンタの操作方法については、プリンタに添付されている取扱説明書を参照してください。

チェックアウト後のルームステータスの管理

ここでは、チェックアウト直後から次にチェックインするまでの客室のルームステータスの切替操作について説明します。

この期間に切り替えるルームステータスは、客室の清掃状況を示す清掃ステータスと、客室の点検状況を示す点検ステータスです。以下の操作で切り替えます。

清掃開始(➡P.18) 清掃完了(➡P.19) 点検完了(➡P.21) 清掃完了取消(➡P.20)
故障(➡P.22) 修理完了(➡P.23)

チェックアウト直後のルームステータスは「清掃待ち」です(□□(DSS)ランプは遅点滅(緑))。

清掃ステータスは、フロント内線や控室内線のほか、清掃スタッフが持ち歩くデジタルコードレス電話機(UM)や客室内線からでも、切り替えられます。「清掃内線からの操作」(➡P.32)、「客室内線からの操作」(➡P.34)を参照してください

清掃を開始 / 完了する

客室の清掃を開始したときと完了したときにステータスを切り替えます。

清掃を開始する

1

□□ (清掃開始) を押す

- ☎スピーカランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに清掃開始画面が表示されます。

清掃開始
内線番号 [■]

2

客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する□□(DSS)を押す

- 選択した客室の□□(DSS)ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

清掃開始
内線番号 [200]
鶴の間
清掃待ち

3

(複数の客室を選択する場合)
複数の□□(DSS)を押す

☎または☎を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ□□(DSS)をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4

Ⓐを押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の□□(DSS)ランプは、遅点滅(緑)(清掃中)に変わります。

5

☎スピーカを押す

☎スピーカランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、□□にホテル機能とDSS機能を割り付けておきます(□□(DSS)には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡P.40)を参照してください。
- (DSS)ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(➡P.42)を参照してください。
- 清掃開始操作後のルームステータスは「清掃中」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、□□(客室情報表示) + □□(DSS)を押してください(詳細は「客室情報の確認」(➡P.24)を参照してください)。

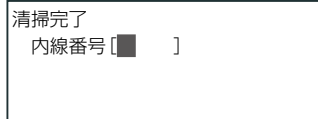
客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
清掃中

- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

清掃を完了する

1 (清掃完了) を押す

- (スピーカ) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに清掃完了画面が表示されます。

2 客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

3 (複数の客室を選択する場合)
複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 (確定) を押す

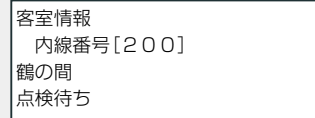
登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプは、間欠点灯(赤)(点検待ち)に変わります。

5 (スピーカ) を押す

(スピーカ) ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- 清掃完了操作後のルームステータスは「点検待ち」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。



- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

清掃後の客室を点検する

清掃を完了したら客室を点検します。点検の結果、問題がなければ点検完了ステータスを登録します(➡P.21)。再度清掃が必要な場合は、清掃完了ステータスを取り消します。

清掃完了を取り消すには

1 (清掃完了) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに清掃完了画面が表示されます。

清掃完了
内線番号 [■]

2 客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

清掃完了
内線番号 [200]
鶴の間
点検待ち

3 フラッシュ を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプは、遅点滅(緑)(清掃待ち)に変わります。

4 を押す

ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(➡P.42)を参照してください。
- 清掃完了を取り消すと、ルームステータスは、「点検待ち」から「清掃待ち」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(➡P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
清掃待ち

点検を完了する

1

□□ (点検完了) を押す

- **スピーカー** ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに点検完了画面が表示されます。



2

客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する□□ (DSS) を押す

- 選択した客室の□□ (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。



3

(複数の客室を選択する場合)
複数の□□ (DSS) を押す

○ または ○ を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ□□ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4

○ (確定) を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の□□ (DSS) ランプが消灯して、チェックインできる状態(空室)になります。

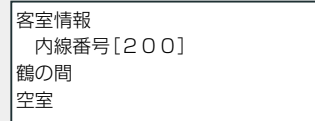
5

スピーカーを押す

スピーカーランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、□□ にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます (□□ (DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶ P.40)を参照してください。
- □□ (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶ P.42)を参照してください。
- 点検完了操作後のルームステータスは「空室」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、□□ (客室情報表示) + □□ (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶ P.24)を参照してください)。



- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

客室を故障 / 修理完了状態にする

客室に何らかの不具合があって使用できない場合は、ルームステータスを故障中の状態にします。修理が完了し、再び使えるようになったらルームステータスを「修理完了」にします(➡P.23)。

故障状態にする

1 空室状態で、 (故障) を押す

- (スピーカ) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに故障画面が表示されます。

故障
内線番号 [<input type="checkbox"/>]

2 客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

故障
内線番号 [200]
鶴の間
空室

3 (複数の客室を選択する場合) 複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 (確定) を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプが消灯して、故障中の状態になります。

5 (スピーカ) を押す

(スピーカ) ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(➡P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(➡P.42)を参照してください。
- 故障状態にしたあとのルームステータスは「故障」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(➡P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
故障中

- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

修理完了状態にする

1 (故障) を押す

- (スピーカー) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに故障画面が表示されます。

2 客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

3 (複数の客室を選択する場合)
複数の (DSS) を押す

または を押すと、選択されている複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

また、同じ (DSS) をもう一度押すと、客室の選択を取り消すことができます。

4 フラッシュ を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプが消灯して、修理完了(空室)の状態になります。

5 (スピーカー) を押す

(スピーカー) ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- 操作後のルームステータスは「空室」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押してください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。



- 手順3で複数の客室を選択した場合、選択した客室の中に1つでもルームステータスを変更できない状態の客室があった場合は、選択したすべての客室のステータス変更操作が無効になります。

客室情報の確認

ルームステータスやウェイクアップコールの登録内容、メッセージウェイティング(伝言)の有無は、フロント内線 / 控室内線の電話機のディスプレイで確認できます。

客室情報を確認する

客室情報では、客室内線の番号および客室名とともにルームステータス、ウェイクアップコールの時刻、メッセージウェイティングの有無、課金状況(外線と通話中かどうか)を確認できます。客室情報を表示する内線は続けて選択できます。

1 (客室情報表示) を押す

- ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイに客室情報画面が表示されます。

客室情報
内線番号 [<input type="checkbox"/>]

2 客室の内線番号をダイヤルする または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

客室情報
内線番号 [200]
鶴の間
清掃中

- 続けて別の客室の情報を表示するには、該当する客室の (DSS) を押します。

客室情報
内線番号 [201]
百合の間
清掃中

- または を押すと、複数の客室の情報をディスプレイに順に表示することができます。

3 を押す

- ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- 客室情報の見かたについては「確認できる情報」(▶P.25)を参照してください。
- 客室情報の表示中に別の電話機から次の情報が更新されると、電話機のディスプレイに表示されている情報も自動更新されます。
 - ・ルームステータス
 - ・ウェイクアップコール設定
 - ・メッセージウェイティング
- 客室情報の表示中に課金情報が更新された場合、電話機のディスプレイに表示されている情報は自動更新されません。内線を選択または押しなおすと更新されます。

確認できる情報

フロント内線 / 控室内線で客室情報を表示したときに、確認できる内容は以下のとおりです。

電話機のディスプレイ

客室情報
内線番号 [200]
新棟 鳳凰の間
在室中 07:30 M 課金中

確認できる情報

1 段目: フロント内線で実行中の操作を以下のように表示

客室情報
チェックイン
チェックアウト
清掃開始
清掃完了
点検完了
故障
外出
在室
ウェイクアップコール
メッセージあり

2 段目: 表示している内線番号

3 段目: 表示している内線の客室名

4 段目: 左から以下のように表示

ルームステータス表示
空室
在室中
外出中
清掃待ち
清掃中
点検待ち
故障中

ウェイクアップコール時刻
ウェイクアップコールが設定されている時刻

メッセージウェイティング表示
伝言メッセージがある場合、「M」と表示

課金の状態表示
客室内線 / バンケット内線が外線と通話中のときは「課金中」と表示(行全体が反転表示となる)

工事設定

1 段目に表示するホテル操作名、4 段目に表示するルームステータスの名前を変更する場合は、販売店にご相談ください。

● フロント内線からの緊急時などの操作

ここでは、フロント内線からの操作のうち、緊急時などに利用できる以下の操作について説明します。

- 「客室内線 / バンケット内線の発信規制を手動で解除する」 (→ P.26)
- 「強制的に空室状態にする」 (→ P.27)
- 「客室内線を一齐に呼び出す」 (→ P.28)

客室内線 / バンケット内線の発信規制を手動で解除する

客室のチェックイン操作をすると、通常はその客室内線（およびその客室に貸し出されたバンケット内線）からの外線発信の規制が自動的に解除され、外線発信ができるようになりますが、フロント内線や Web ルームインジケータから手動で解除することもできます。

※客室内線やバンケット内線では、常に内線への発着信が可能です。

MEMO

- Web ルームインジケータの概要については、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(→ P.39)を参照してください。また、Web ルームインジケータから操作する場合は、ホテル機能の機器に添付されている取扱説明書を参照してください。
- 発信規制の手動解除は、主装置との通信に問題が発生してチェックイン操作ができない状態のときに宿泊客が到着してしまった場合など、すぐに宿泊客を客室に案内したい場合に使用できます。宿泊客を客室に案内する前に、客室内線の発信規制を解除することができます。この場合、チェックイン操作は、障害の回復後に行います。

1 受話器を上げる

受話器から内線発信音が聞こえます。

2 客室規制解除特番と解除対象の客室の内線番号をダイヤルする

- 客室規制が解除され、その客室内線から外線などへの通話ができるようになります。
- 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(→ P.41)を参照してください。

工事設定

国際電話については別途、設定が必要です。発信先の規制や許容の範囲などについては、販売店にご相談ください。

強制的に空室状態にする

通常の流れである点検完了や修理完了の操作を行わずに、客室を強制的に空室にすることができます。ただし、チェックインの準備が整っていない客室でもチェックインができるようになってしまうため、注意が必要です。

1 (チェックイン) を押す

- (スピーカー) ランプが点灯(赤)します。
- 電話機のディスプレイにチェックイン画面が表示されます。

チェックイン
内線番号[■]

2 客室の内線番号をダイヤルする
または、該当する (DSS) を押す

- 選択した客室の (DSS) ランプが速点滅(緑)します。
- 電話機のディスプレイには、選択した客室の現在のルームステータスが表示されます。

チェックイン
内線番号[200]
鶴の間
清掃中

3 フラッシュ を押す

登録完了音が鳴り、選択した客室の (DSS) ランプが消灯して、空室の状態になります。

4 スピーカ を押す

(スピーカー) ランプが消灯し、ディスプレイは待受画面に戻ります。

MEMO

- この操作を行う前に、 にホテル機能と DSS 機能を割り付けておきます ((DSS) には客室の内線番号を登録しておきます)。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。
- (DSS) ランプの表示については、「A-4 ルームステータスの状態表示」(▶P.42)を参照してください。
- 操作後のルームステータスは「空室」になります。操作後のルームステータスを電話機のディスプレイで確認するには、 (客室情報表示) + (DSS) を押ししてください(詳細は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください)。

客室情報
内線番号[200]
鶴の間
空室

- 手順 2 で、内線番号や (DSS) の代わりに (※) を押すと、全客室を選択できます。全客室が選択された状態で フラッシュ を押すと、一斉強制空室を確認する画面が表示されます。 (確定) を押して手順 4 に進みます。この操作は、強制空室とチェックアウトのみで有効です。
- 課金中(客室内線やバンケット内線から外線に電話をかけているなど)の客室は、強制空室操作をしようとするとエラー音が鳴り、強制空室にできません。これは通話料金などの請求漏れを防ぐためです。

工事設定

課金中でも強制空室にする場合は、販売店にご相談ください。

客室内線を一齐呼び出す

緊急の場合などに客室内線を一齐呼び出すことができます。

MEMO

この操作を行う前に、に客室内線の緊急一齐呼出の機能を割り付けておきます。「A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン」(▶P.40)を参照してください。

工事設定

この機能を使用するには一齐呼出の対象となる内線の登録や専用の音声ガイダンスの録音をあらかじめ行っておく必要があります。販売店にご相談ください。

呼び出す側

1 受話器を上げる

受話器から内線発信音が聞こえます。

2 (緊急一齐呼出) を押す

- (緊急一齐呼出) の代わりに、緊急一齐呼出特番を押すこともできます。特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶P.41)を参照してください。
- 電話機のディスプレイに緊急一齐呼出画面が表示されます。

緊急一齐呼出

で開始します

3 または を押す

- 客室内線の一齐呼出が開始されます。
- (緊急一齐呼出) ランプの光りかたで、客室内線の応答状況を確認することができます。

呼出中	速点滅(赤)
最初の客室が応答 (未応答の客室あり)	点灯(赤)
すべての客室が応答	点灯(緑)

4 一齐呼出を終了するには、受話器を置く

(緊急一齐呼出) ランプが消灯します。

応答する側

1 一齐呼出の着信音が鳴る

2 受話器を上げて応答する

3 通話が終了したら、受話器を置く

● フロント内線 / 控室内線から電話をかける

ここでは、外線と内線にかける基本操作のみを説明します。詳細については『取扱説明書(多機能電話機編)』の「第2章 基本的な使いかた」を参照してください。

外線にかける

外線ランプが消灯している (外線) または **発信** を押し、次に電話番号をダイヤルします。
電話番号をダイヤルする代わりに、電話帳を利用して電話をかけることもできます。電話帳の使いかたについては、『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照してください。

工事設定

- ホストコンピュータで登録した顧客情報(電話番号や名前など)を、主装置の共通電話帳に取り込んで、フロント内線から利用することができます。顧客情報の取り込みには専用ツールが必要です。販売店にご相談ください。
- 顧客情報は特定の共通電話帳グループ(顧客電話帳)に取り込まれます。顧客電話帳の情報は **Web 設定** や電話機のサービスメニューから編集することはできません。

外線ボタンを使ってかける

- 1 受話器を上げる**
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 ランプが消灯している (外線) を押す**
 - 外線とつながり、外線発信音に変わります。
 - (外線) ランプは点灯(緑)し、他の電話機の外線ランプは、点灯(赤)します。

- 3 相手の電話番号をダイヤルする**
相手が応答すると、通話できます。
- 4 通話が終了したら、受話器を置く**
 (外線) ランプは、消灯します。

MEMO

(外線) は初期設定で に登録されています。

発信ボタンを使ってかける

- 1 受話器を上げる**
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 **発信** を押す**
外線とつながり、外線発信音に変わります。
- 3 相手の電話番号をダイヤルする**
相手が応答すると、通話できます。

- 4 通話が終了したら、受話器を置く**

MEMO

発信 の代わりに、自動選局特番(例えば0)を押しても外線とつながります。特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(→P.41)を参照してください。

内線にかける

受話器を上げてかける

- 1 **受話器を上げる**
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 **相手の内線番号をダイヤルする
または、該当する□□(DSS)を押す**
受話器から相手呼び出す音が聞こえます。
- 3 **相手と通話する**
相手が応答すると、通話ができます。
- 4 **通話が終了したら、受話器を置く**

MEMO


フロント内線から客室内線にかけたときは、手順3で電話機のディスプレイの4行目に宿泊者名が表示されます。

内線発信
100→[200]
鶴の間
鈴木一郎

ただし、チェックイン時にWebルームインジケータから宿泊者名を登録していない場合は、電話機のディスプレイに宿泊者名が表示されません。Webルームインジケータについては、「A-1 Webルームインジケータの画面構成」(→P.39)を参照してください。

電話番号を確認してかける

相手の内線番号をダイヤルしてから、発信操作をします。

- 1 **相手の内線番号をダイヤルする**
 - 入力した番号を間違えた場合は **フラッシュ** を押し、1文字ずつ消去します。
 - **フラッシュ** を長押しすると、入力したすべての文字を消去できます。
- 2 **スピーカーを押す**
 - ダイヤルした内線番号に電話がかかります。
 - 相手の応答する声が  スピーカから聞こえます。
 - 通話できる状態です。
- 3 **受話器を上げる**
通話します。
- 4 **通話が終了したら、受話器を置く**

● 宿泊者からの電話をうける

ここでは、客室内線からの電話をフロント内線でうける操作について説明します。

客室内線からの電話をフロント内線でうける

1

着信音が鳴る

- 内線着信音が鳴ります。

内線着信 100←[200] 鶴の間 鈴木一郎

- 電話機のディスプレイの4行目に宿泊者名が表示されます。

MEMO

チェックイン時に Web ルームインジケータから宿泊者名を登録していない場合は、電話機のディスプレイに宿泊者名が表示されません。Web ルームインジケータについては、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(▶P.39)を参照してください。

2

受話器を上げる

通話ができる状態になります。

3

通話が終了したら、受話器を置く


● 清掃内線からの操作

清掃内線は清掃スタッフが持ち歩く内線（デジタルコードレス電話機（UM））です。主に客室の清掃ステータスの切替に使用します。

清掃を開始 / 完了する

清掃の開始 / 完了時に客室の清掃ステータスを切り替えます。

清掃を開始する


- 1  を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 **清掃内線用清掃開始特番と客室の内線番号をダイヤルする**
 - 清掃内線用清掃開始特番と、清掃を開始する客室の内線番号を続けて押します。
 - 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶P.41)を参照してください。

- 3  を押す

MEMO

清掃開始操作後のルームステータスは「清掃中」になります。ステータスをフロント内線の電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください。

清掃を完了する

- 1  を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 **清掃内線用清掃完了特番と客室の内線番号をダイヤルする**
 - 清掃内線用清掃完了特番と、清掃を完了する客室の内線番号を続けて押します。
 - 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶P.41)を参照してください。

- 3  を押す


MEMO

- 清掃完了操作後のルームステータスは「点検待ち」になります。ステータスをフロント内線の電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください。
- 清掃内線から清掃完了を取り消すことはできません。清掃完了を取り消すには、フロント内線または控室内線を使用してください。「清掃完了を取り消すには」(▶P.20)を参照してください。

清掃後の客室を点検する

清掃を完了したら客室を点検します。点検の結果、問題がなければ点検完了操作を行います。

点検を完了する

- 1 を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 **清掃内線用点検完了特番と客室の内線番号をダイヤルする**
 - 清掃内線用点検完了特番と、点検を完了する客室の内線番号を続けて押します。
 - 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶P.41)を参照してください。

- 3 を押す




MEMO

点検完了操作後のルームステータスは「空室」になります。ステータスをフロント内線の電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(▶P.24)を参照してください。



電話をかける

ここでは、外線と内線にかける基本操作のみを説明します。詳細については、デジタルコードレス電話機(UM)に添付されている取扱説明書を参照してください。

外線にかける

- 1 待受画面で、を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 **自動選局特番(例えば)を押す**
特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶P.41)を参照してください。
- 3 **相手先の電話番号をダイヤルする**
相手先が応答したら通話します。
- 4 通話が終了したら、を押す

内線にかける

- 1 待受画面で、を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 **内線番号をダイヤルする**
受話口から相手を呼び出す音が聞こえます。
- 3 **通話する**
相手先が応答したら通話します。
- 4 通話が終了したら、を押す

● 客室内線からの操作

客室内線からも清掃ステータスの切替ができます。

清掃を開始 / 完了する

清掃の開始 / 完了時にルームステータスを切り替えます。

清掃を開始する

- 1 **受話器を上げる**
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 **客室内線用清掃開始特番を押す**
特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(➡ P.41)を参照してください。

- 3 **受話器を置く**

MEMO

清掃開始操作後のルームステータスは「清掃中」になります。ステータスをフロント内線の電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(➡ P.24)を参照してください。

清掃を完了する

- 1 **受話器を上げる**
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 **客室内線用清掃完了特番を押す**
特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(➡ P.41)を参照してください。

- 3 **受話器を置く**

MEMO

- 清掃完了操作後のルームステータスは「点検待ち」になります。ステータスをフロント内線の電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(➡ P.24)を参照してください。
- 客室内線から清掃完了を取り消すことはできません。清掃完了を取り消すには、フロント内線または控室内線を使用してください。「清掃完了を取り消すには」(➡ P.20)を参照してください。

清掃後の客室を点検する

清掃を完了したら客室を点検します。点検の結果、問題がなければ点検完了ステータスを登録します。

点検を完了する

- 1 **受話器を上げる**
受話器から内線発信音が聞こえます。
- 2 **客室内線用点検完了特番を押す**
特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(➡ P.41)を参照してください。

- 3 **受話器を置く**

MEMO

点検完了操作後のルームステータスは「空室」になります。ステータスをフロント内線の電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(➡ P.24)を参照してください。

2-2 宿泊客の操作

● 客室内線から

客室内線からは、ウェイクアップコール時刻の設定ができます。

目覚まし機能を設定する(ウェイクアップコール)

ウェイクアップコールは、指定時間になると客室内の内線呼び出して、目覚ましの音声ガイダンスを流す機能です。客室内線からウェイクアップコールの登録と解除ができます。

工事設定

音声ガイダンスを、チェックイン時に Web ルームインジケータから登録した言語で流すこともできます(客室ごとに登録)。販売店にご相談ください。登録できる言語は、8 カ国語(日本語、韓国語、中国語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語)のいずれかです。Web ルームインジケータについては、「A-1 Web ルームインジケータの画面構成」(▶ P.39)を参照してください。

ウェイクアップコールを登録する

1 受話器を上げる

受話器から内線発信音が聞こえます。

2 ウェイクアップコール特番と **1** を押す

特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶ P.41)を参照してください。

3 ウェイクアップコールの時刻を押す

- 例えば、朝 7:30 分の場合は **0** **7** **3** **0** と押します。
- 入力した時刻を確認するガイダンスが流れます。

4 受話器を置く

客室内線にウェイクアップコールが設定されます。

MEMO

- 客室のウェイクアップコールの時刻が設定されたことを、ホテル従業員が電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(▶ P.24)を参照してください。
- ウェイクアップコールの時刻を変更したい場合は、手順 3 で新しい時刻を入力します。

ウェイクアップコールを解除する

1 受話器を上げる

受話器から内線発信音が聞こえます。

2 ウェイクアップコール特番と **0** を押す

- 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶ P.41)を参照してください。
- 時刻の解除を確認するガイダンスが流れます。

3 受話器を置く

内線のウェイクアップコールが解除されます。

MEMO

- 客室のウェイクアップコールの設定が解除されたことを、ホテル従業員が電話機のディスプレイで確認する場合は「客室情報の確認」(▶ P.24)を参照してください。

電話をかける

ここでは外線と内線にかける基本操作のみを説明します。詳しい使いかたについては、『取扱説明書（多機能電話機編）』の「第7章 アナログ電話機編」を参照してください。

工事設定

特定の特番・電話番号への客室内線からの発信を一括規制する場合は、販売店にご相談ください。

MEMO

客室内線からの発信を個々に規制する場合は、Web ルームインジケータから行います。ホテル機能の機器に添付されている取扱説明書を参照してください。

外線にかける

外線に電話をかけます。

1 受話器を上げる

受話器から、内線発信音が聞こえます。

2 自動選局特番(例えば)を押す

- 外線とつながり、外線発信音に変わります。
- 特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(→P.41)を参照してください。

3 相手先の電話番号をダイヤルする

相手先が応答したら通話します。

4 通話が終了したら、受話器を置く

内線にかける

内線を呼び出して通話します。

1 受話器を上げる

受話器から、内線発信音が聞こえます。

2 内線番号をダイヤルする

受話口から相手を呼び出す音が聞こえます。

3 通話する

相手先が応答したら通話します。

4 通話が終了したら、受話器を置く

工事設定

内線を利用するには、ダイヤル種別(パルス式/プッシュ式指定)の設定が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

● バンケット内線から

バンケット内線は、チェックイン時に宴会や会議用として貸し出されるデジタルコードレス電話機(UM)で、チェックアウト時に通話料金が清算されます。

工事設定

特定の特番・電話番号へのバンケット内線からの発信を一括規制する場合は、販売店にご相談ください。




MEMO

バンケット内線からの発信を個々に規制する場合は、Web ルームインジケータから行います。ホテル機能の機器に添付されている取扱説明書を参照してください。

電話をかける

ここでは、外線と内線にかける基本操作のみを説明します。

外線にかける

- 1 待受画面で、を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 自動選局特番(例えば)を押す
特番の初期設定については、「A-3 ホテルシステムで使用する特番」(▶P.41)を参照してください。
- 3 相手先の電話番号をダイヤルする
相手先が応答したら通話します。
- 4 通話が終了したら、を押す

内線にかける

- 1 待受画面で、を押す
受話口から内線発信音が聞こえます。
- 2 内線番号をダイヤルする
受話口から相手を呼び出す音が聞こえます。
- 3 通話する
相手先が応答したら通話します。
- 4 通話が終了したら、を押す

MEMO

- バンケット内線からウェイクアップコールの時刻を設定することはできません。
- デジタルコードレス電話機(UM)の使用の詳細は、電話機に添付されている取扱説明書を参照してください。

付録 A

A-1 Web ルームインジケータの画面構成

ここでは、パソコンにインストールして使用する Web ルームインジケータについて、簡単に紹介します。このツールから、ホテル機能の操作を行うことができます。

ブラウザを起動してホテルシステムに接続すると、以下の画面が表示されます。

Web ルームインジケータについての詳細は、ホテル機能の機器に添付されている取扱説明書を参照してください。

フロント操作メニューでは、さまざまなフロント業務を選択できます。

設定フレームには、フロント操作メニューで選んだメニューに応じて、設定画面が表示されます。

客室一覧フレームでは、操作対象の客室を選択できます。

客室情報詳細フレームには、客室の詳細情報が表示されます。

フロント操作メニュー

客室情報詳細フレーム

設定フレーム

客室一覧フレーム

フロント操作メニュー

客室情報詳細フレーム

設定フレーム

客室一覧フレーム

MEMO

Web ルームインジケータを使用するには、HTML5 と WebSocket をサポートしているブラウザが必要です。現在のところ、Google Chrome バージョン 22 以降に対応しています。

A-2 ホテルシステムで使用するオートダイヤルボタン

電話機ごとに□□□(オートダイヤル)に特定の機能や内線番号などを割り付けて使用することができます。

詳細は、『取扱説明書(多機能電話機編)』の「1-6 電話機への機能の登録」-「オートダイヤルボタンに機能や番号を割り付ける」を参照してください。

機能種別 No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
45	緊急一斉呼出	—	—	—	—	※販売店による工事設定で一斉呼出対象の内線の設定が必要
52	DSS	内線番号最大 4 桁	0000 ~ 9999	—	—	[ファンクション割付]メニューではなく、[DSS 割付]メニューで登録 (『取扱説明書(多機能電話機編)』の「1-6 電話機への機能の登録」-「オートダイヤルボタンに内線 DSS 機能を登録する」を参照)
54	ホテル管理	0 :チェックイン 1 :チェックアウト 2 :清掃開始 3 :清掃完了 4 :点検完了 5 :外出 6 :在室 7 :ウェイクアップコール 8 :メッセージウェイティング 9 :客室情報表示 10 :故障 11 :ルームチェンジ	0~19(予備含む)	—	—	※販売店による工事設定のみ可能

A-3 ホテルシステムで使用する特番

工事設定

ホテルシステムで利用できる特番には、次のようなものがあります。初期値が設定されていないものや、変更する場合は販売店にご相談ください。

呼種別 No.	特番名(※)	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報	適用される内線
12	自動選局特番	0	—	—	客室内線 清掃内線 バンケット内線 フロント内線
39	緊急一斉呼出特番	—	—	—	フロント内線
57	客室内線用清掃開始特番 客室内線用清掃完了特番 客室内線用点検完了特番 ※正式名称は、「客室状態変更(客室用)特番」です。	—	10: 清掃開始 11: 清掃終了 12: 点検完了	—	客室内線
58	客室規制解除特番	—	—	内線番号	フロント内線
59	客室一斉鳴動停止特番	—	—	—	フロント内線
60	清掃内線用清掃開始特番 清掃内線用清掃完了特番 清掃内線用点検完了特番 ※正式名称は、「客室状態変更(清掃内線用)特番」です。	—	10: 清掃開始 11: 清掃終了 12: 点検完了	内線番号	清掃内線
61	ウェイクアップコール特番	—	—	0: 解除 1: 登録 登録の場合は1のあとに時刻を4桁で入力する(0000～2359)	客室内線

(※)ここで示している特番名は、本書で記載している名称です。

A-4 ルームステータスの状態表示

ルームステータスは、フロント内線や控室内線のディスプレイ、客室の内線番号が割り当てられた集中受付装置 (DSS) のオートダイヤルボタン (DSS) のランプ、パソコンの Web ルームインジケータで、客室の内線番号ごとに次のように表示されます。

ルームステータス	ステータス表示		
	フロント内線 / 控室内線のディスプレイ	<input type="checkbox"/> (DSS) のランプ	パソコンの Web ルームインジケータ
在室中 (チェックイン / ルームチェンジ操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 在室中	点灯 (緑)	 その日に出発予定の場合は、「在室 / 出」のように表示されます。
清掃待ち (チェックアウト操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 清掃待ち	遅点滅 (緑) ※ 0.5 秒間隔で点滅	
清掃中 (清掃開始操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 清掃中	遅点滅 (緑) ※ 0.5 秒間隔で点滅	
点検待ち (清掃完了操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 点検待ち	間隙点灯 (赤) ※ 0.85 秒点灯、0.15 秒消灯の繰り返し	
空室 (点検完了操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 空室	消灯	
外出中 (外出操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 外出中	間隙速点滅 (緑) ※ 1 秒ごとに速点滅 (0.1 秒間隔で点滅) が 2 回ずつ点滅	 その日に出発予定の場合は、「外出 / 出」のように表示されます。
在室中 (在室操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 在室中	点灯 (緑)	 その日に出発予定の場合は、「在室 / 出」のように表示されます。
故障中 (故障操作)	客室情報 内線番号 [200] 鶴の間 故障中	消灯	

※フロント内線 / 控室内線のディスプレイの 3 行目の名称は、内線ネームを登録している場合のみ表示されます。

※ステータスの切替操作中の客室の内線番号が割り当てられた (DSS) ランプは速点滅 (緑) しています。

MEMO

ステータスの切替操作以外のときに、電話機からルームステータスを確認するには、電話機での操作が必要です。「2-1 ホテル従業員の操作」の「客室情報の確認」(→ P.24) を参照してください。

工事設定

(DSS) のランプの光りかたは、工事設定により変更することができます。販売店にご相談ください。

A-5 ルームステータスの切替操作のまとめ

ここでは、ホテル機能でよく使用するルームステータスの切替操作について簡単にまとめています。

各電話機で可能な操作

操作	電話機		
	フロント内線 / 控室内線		客室内線 / 清掃内線
	内線ごと指定	全内線指定	
チェックイン	○	—	—
チェックアウト	○	○	—
清掃開始	○	—	○
清掃完了	○	—	○
点検完了	○	—	○
故障	○	—	—
外出切替	○	—	—
在室切替	○	—	—
清掃完了取消	○	—	—
強制空室	○	○	—

ルームステータスの切替操作

操作手順			
チェックイン	<input type="checkbox"/> (チェックイン)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
強制空室	<input type="checkbox"/> (チェックイン)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="フラッシュ"/>
チェックアウト	<input type="checkbox"/> (チェックアウト)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
清掃開始	<input type="checkbox"/> (清掃開始)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
清掃完了	<input type="checkbox"/> (清掃完了)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
清掃完了取消	<input type="checkbox"/> (清掃完了)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="フラッシュ"/>
清掃点検完了	<input type="checkbox"/> (点検完了)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
外出	<input type="checkbox"/> (外出)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
在室	<input type="checkbox"/> (在室)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
故障中	<input type="checkbox"/> (故障)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>
修理完了	<input type="checkbox"/> (故障)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="フラッシュ"/>
ルームチェンジ	<input type="checkbox"/> (ルームチェンジ)	➔ 客室を指定	➔ <input type="button" value="確定"/>

客室を指定するには、以下のいずれかの操作をします。

- 客室の内線番号が登録された (DSS) を押す
- 内線番号をダイヤルする

MEMO

上表は、フロント内線 / 控室内線での操作です。客室内線 / 清掃内線では、清掃開始 / 清掃完了 / 清掃点検完了の各特番で清掃ステータスを切り替えます。

ルームステータスの切替以外の操作

操作手順	
ウェイクアップコールの時刻登録	□□ (ウェイクアップコール) → 客室を指定 →  → 設定時刻を入力 → 
ウェイクアップコールの解除	□□ (ウェイクアップコール) → 客室を指定 → 
メッセージウェーティング登録	□□ (メッセージウェーティング) → 客室を指定 → 
メッセージウェーティング解除	□□ (メッセージウェーティング) → 客室を指定 → 

客室を指定するには、以下のいずれかの操作をします。

- 客室の内線番号が登録された□□ (DSS) を押す
- 内線番号をダイヤルする

設定時刻の入力例(朝 7:30 分の場合)：






付録 B

B-1 困ったときは

ここでは、ホテル機能に関するよくある質問をまとめています。

こんなときは	お確かめください
部屋やフロアの情報を設定したい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 販売店が対応しますので、販売店にご依頼ください。
Web ルームインジケータが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Web ブラウザは Google Chrome を利用していますか。バージョン 22 以上をご利用ください。 ● Windows Internet Explorer では Web ルームインジケータは利用できません。
Web ルームインジケータは起動するが、接続操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Web ブラウザが Google Chrome の場合、導入時のショートカット以外で起動すると、接続操作ができません。必ず、デスクトップのショートカットを利用してください。
Web ルームインジケータの操作ができなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面左上に「ホテル装置未接続」と表示されていませんか。IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタとの接続が切れています。もう一度ホテル装置接続操作を行ってください。
Web ルームインジケータの左フレームの下に「PBX・ホテル装置間 接続異常」と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● IPAP パッケージまたはホテル機能アダプタと主装置（PBX）との通信ができていません。 「PBX・ホテル装置間 接続異常」に続く表示(HS、H、S)を確かめてください。 HS: ホテル機能通信、通話情報通信とも異常。 →ネットワーク障害が考えられます。 H: ホテル機能通信だけが異常。 → IP アドレスや通信ポート、パスワードなどの設定誤りが考えられます。 S: 通話情報通信だけが異常。 → IP アドレスや通信ポート、パスワードなどの設定誤りが考えられます。
プリンタを増設したい。	<ul style="list-style-type: none"> ● LAN 接続で 8 台まで増設可能です。販売店が対応しますので、販売店にご依頼ください。
A4 用紙にプリントアウトしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 用紙を出力したい場合はページプリンタをご利用ください。ページプリンタのご利用方法は設置説明書を参照してください。

索引

D

DSS のランプ (ルームステータスの状態表示) … 42

I

IPAP パッケージ … xvii

W

Web ルームインジケータ … 39
パソコンの必要条件 … xviii
ルームステータスの状態表示 … 42

い

印刷
ウェイクアップコールの登録情報 … 15
メッセージウェイティングの登録情報 … 17
領収書 … 13

う

ウェイクアップコールの登録 / 解除 … 6
客室内線からの操作 (宿泊客) … 35
フロント内線からの操作 (ホテル従業員) … 14, 15

お

オートダイヤルボタン一覧 … 40

か

外出状態にする … 5, 11
外線にかける
客室内線から … 36
清掃内線から … 33
バンケット内線から … 37
フロント内線 / 控室内線から … 29

き

客室情報の表示で確認できる内容 … 25
客室情報表示 … 24
客室内線
宿泊客が利用する … 7, 35
清掃スタッフが利用する … 4, 34
客室内線の一斉呼び出し … 6, 28
客室の変更 (ルームチェンジ) … 5, 10
客室の利用状況や清掃状況の管理 … 5

強制的に空室状態にする … 27

緊急一斉呼出 … 28

こ

顧客電話帳 … 29
故障状態にする … 5, 22
困ったときは … 45

さ

在室状態にする … 5, 12

し

集中受付装置 (DSS) のランプ表示 … 42
修理完了状態にする … 5, 23
宿泊者名表示 … 30, 31

せ

清掃開始 … 5
客室内線からの操作 (清掃スタッフ) … 34
清掃内線からの操作 (清掃スタッフ) … 32
フロント内線 / 控室内線からの操作 … 18
清掃完了 … 5
客室内線からの操作 (清掃スタッフ) … 34
清掃内線からの操作 (清掃スタッフ) … 32
フロント内線 / 控室内線からの操作 … 19
清掃完了の取り消し … 5, 20
清掃ステータス … 5, 18, 32
清掃内線 … 4, 32

ち

チェックアウト … 5, 13
チェックイン … 5, 9

て

点検完了 … 5
客室内線からの操作 (清掃スタッフ) … 34
清掃内線からの操作 (清掃スタッフ) … 33
フロント内線 / 控室内線からの操作 … 21

と

特番一覧 … 41

な

- 内線からの電話を受ける
 - フロント内線で 31
- 内線にかける
 - 客室内線から 36
 - 清掃内線から 33
 - バンケット内線から 37
 - フロント内線 / 控室内線から 30
- 内線の種類 4, 7

は

- 発信規制と解除 6, 26
- バンケット内線 7, 37
- 汎用アプリケーションパッケージ xvii

ひ

- 控室内線 4, 8, 29

ふ

- フロント内線 4, 8, 26, 29, 31

ほ

- ホテル機能アダプタ
 - 種類 xvii
- ホテルシステムで使用する機器 xvii, 2
 - IPAP パッケージ xvii
 - Web ルームインジケータ用のパソコン xviii
 - ホテル機能アダプタ xvii
- ホテルシステムの構成図 1
- ホテル従業員の操作 4, 8

め

- メッセージウェイティングの登録 / 解除 6, 16, 17

る

- ルームステータスの切替操作 5, 43
- ルームステータスの状態表示 42
- ルームチェンジ 5, 10



リチウムイオン電池の
リサイクルに
ご協力ください

この装置は、クラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、外国為替及び外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。
この製品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。

This product designed for use in Japan is a strategic product regulated under the Japanese Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission from the Japanese Government.

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品番	
販 売 店 名		電話 ()	-
お 近 く の 販 売 会 社		電話 ()	-

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

1318BT 173-2 D

4438076300